

光

本書は光村図書
発行の「国語」を
参考に編集して
あります。

漢字・語句の学習

Kanji words and phrases

2

暁教育図書

二訂新版

新出漢字・新出音訓をすべて収録

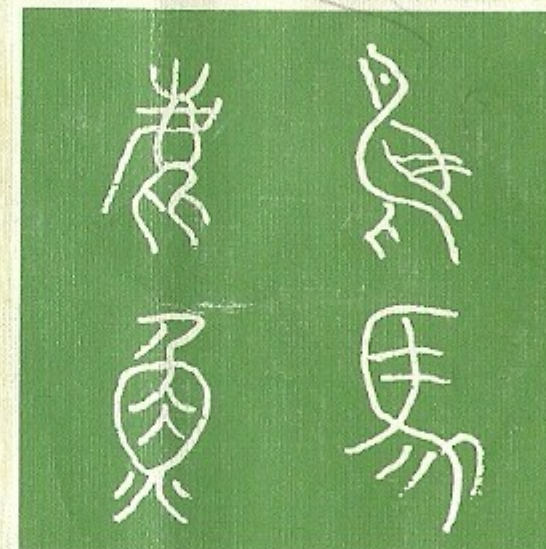


I found this laying in
the road in our village
of aza Oki.

No one at the village
office was able to
identify its owner.

After a week no one
had come to claim it or
report it missing.

They told me I can
have it.



漢字・語句の学習 光版 2年

企画・編集——暁教育図書第一出版局

著作権者・発行者——坪田五雄

発行所——暁教育図書株式会社

東京都千代田区九段南4-4-9

☎03(263)1311(代表)

学校納入定価 210円 コード 13562

*本書の内容についての責任は、いっさい暁教育図書側にありますので、内容についてのお問い合わせは当社第一出版局編集部までおよせください。

*本書をそのまま複製及びコピーして使用することは、著作権法違反となりますので、絶対に禁止いたします。

*本書は特約店以外、店頭販売はいたしておりません。

中学校

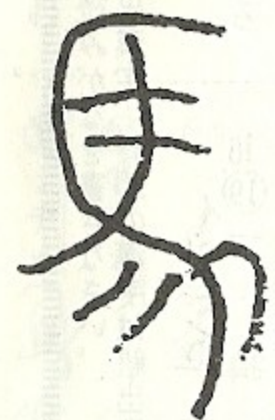
1990 June 19th
Z 年 6 組 19 番

氏名 山内 勤

表紙装丁・アール企画デザイン

漢字・語句の学習

2



この本を使われるみなさんへ

私たちは、毎日、漢字を読んだり書いたり、いろいろな言葉を使ったり聞いたりして、生活をしています。ですが、実際には、読めない漢字があつて本や新聞が満足に読めなかったり、作文や手紙でまちがった字を書いたり、また、言葉の意味や使い方を知らなかったために、自分の考えが相手に正しく伝わらなかつたりすることがよくあります。

そこで、そういうことがなくなるように、この本では教科書に出てくる漢字や多くの言葉を、能率的に学習できるようなくふうしました。

次の「しくみと使い方」を読み、授業の進度に合わせて、一題材ずつ勉強し、漢字や言葉をしっかりと身につけて、言語生活が豊かになるよう、がんばってください。

この本のしくみと使い方

1 漢字の読み書きの学習

漢字の読みがたと書き取りを左右対照にして、正確に、そして、早く答え合わせができるようにしてあります。この漢字は知っているからいいなどといわないで、全部書くようにしましょう。

(1) 漢字の読みがな(偶数ページ)

ここには、新しく学習する漢字(★印をつけてある)と、小学校で習った漢字で新しい読みを学習するもの(☆印をつけてある)を中心にして、できるだけ多くの漢字が示してあります。左ページを見ないで、読みがなを漢字の右がわに書きましょう。(終わりにある) ▼注意 ▲のどこもよく読んでください。(漢字の書き取り(奇数ページ))

ここは、右ページで読んだ漢字を正しく書くページです。漢字は読めても書けない人が多いので、全部正しく書けるようになるまで、くり返し勉強しましょう。(終わりにある) ◆書き誤りやすい漢字 ◆のどこも見て、答えを確かめてください。

2 語句の学習

漢字の読み書き欄の下に、言葉の意味や、いろいろな言葉を学習する欄を設けてあります。わからないときは、辞書で調べて書きましょう。おもなものは、

- ◎ 語句の意味 ↓ 教科書の文章に合った意味を書く。
- ◎ 対義語 ↓ その言葉と意味が対立する言葉を書く。
- ◎ 類義語 ↓ その言葉と意味が似ている言葉を書く。
- ◎ 同音異義語・同訓異義語 ↓ 言葉の意味を考えて書く。
- ◎ 熟語の作成 ↓ 二字・三字・四字の熟語を作る。
- ◎ 短文作り ↓ 意味のはっきりわかる文を書く。 など。

目次

一 心と言葉	言葉の力……………2	子 馬……………30
二 文章の展開	短歌の世界……………4	【言葉】 漢語の組み立て……………34
	ラスコー洞窟の壁画……………6	【言葉】 助動詞……………36
	■ 思考代行業……………8	六 古典の世界
	【言葉】 体言・用言……………10	扇の的……………38
	【言葉】 生活を見直す……………12	神無月のころ……………40
三 文学の表現	○ 漢字の練習 1……………14	漢詩の風景……………42
幸 福……………18	○ 漢字の練習 2……………42	○ 漢字の練習 3……………44
■ マッチ……………22	【言葉】 人間の姿をとらえて・表現の研究……………44	七 日本を考える
【言葉】 音節の種類……………24	【言葉】 意味のひろがり……………48	手の文化……………46
【言葉】 副詞・連体詞……………24	【言葉】 助詞……………48	法隆寺を支えた木……………46
【言葉】 接続詞・感動詞……………24	【言葉】 助詞……………48	○ 漢字の練習 4……………50
四 言葉と意味	○ 漢字の練習 3……………50	八 真実に生きる
智恵子の空……………26	【言葉】 意味のひろがり……………48	沖繩の手記から……………52
【言葉】 楽しい読書報……………26	【言葉】 助詞……………48	■ 前野良沢……………54
告を・表現の研究……………26	【言葉】 助詞……………48	▼覚えておきたい慣用句……………56
五 文学と人生	夕焼け・大阿蘇……………28	
【言葉】 山のあなた……………28		

言葉の力

読みがな

漢字の右側に、読みがなを書きなさい。
 ★印の漢字は新出漢字、☆印の漢字は新出音訓の漢字です。

- | | | | |
|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| ① 語 <small>カタ</small> る | ⑩ 織 <small>オリ</small> る | ⑱ 一 <small>イツ</small> 瞬 <small>シユン</small> | ⑲ 現 <small>ゲン</small> 象 <small>シヨウ</small> |
| ② 発 <small>ハツ</small> する | ⑪ 淡 <small>タン</small> い | ⑳ 不 <small>フ</small> 思 <small>シ</small> 議 <small>ギ</small> | ㉑ 視 <small>シ</small> 野 <small>ヤ</small> |
| ③ 単 <small>タン</small> 独 <small>ドク</small> | ⑫ 燃 <small>ネン</small> える | ㉒ 懸 <small>ケン</small> 命 <small>メイ</small> | ㉓ 背 <small>ハイ</small> 後 <small>ゴ</small> |
| ④ 背 <small>セ</small> 負 <small>フ</small> う | ⑬ 秘 <small>ヒ</small> める | ㉔ 姿 <small>サテ</small> | ㉕ 念 <small>ネン</small> 頭 <small>トウ</small> |
| ⑤ 反 <small>ハン</small> 映 <small>エイ</small> | ⑭ 吸 <small>スイ</small> い <small>込</small> む | ㉖ 一 <small>イツ</small> 刻 <small>コク</small> | ㉗ 身 <small>ミ</small> 近 <small>キン</small> な |
| ⑥ 染 <small>セン</small> 織 <small>シヨク</small> 家 <small>カ</small> | ⑮ 煮 <small>ニ</small> 詰 <small>ジツ</small> める | ㉘ 樹 <small>ジュ</small> 皮 <small>ヒ</small> | ㉙ 木 <small>キ</small> の <small>ノ</small> 幹 <small>カン</small> |
| ⑦ 仕 <small>シ</small> 事 <small>ジ</small> 場 <small>トウ</small> | ⑯ 実 <small>ジツ</small> 際 <small>サイ</small> | ㉚ 精 <small>セン</small> 髓 <small>ズイ</small> | ㉛ 場 <small>トウ</small> は訓読み。 |
| ⑧ 桜 <small>サクラ</small> 色 <small>シキ</small> | ⑰ 季 <small>キ</small> 節 <small>セツ</small> | ㉜ 注 <small>チュウ</small> 意 <small>イ</small> | ㉝ 場 <small>トウ</small> は音読み。 |
| ⑨ 染 <small>セン</small> まる | ⑱ 上 <small>ジョウ</small> 気 <small>キ</small> する | ㉞ 秘 <small>ヒ</small> は、音も | ㉟ 秘 <small>ヒ</small> は、訓も「ひ」。 |
| | | ㊱ 「みじか」と | ㊲ 「みじか」と書かないこと。 |

書き取り

線部を漢字に直しなさい。

- 自分の体験をカタカ「カ」る
- 声をハツハツ「ハツ」する
- タンドクタンドク「タンドク」行動
- 荷物をセオセオ「セオ」う
- みんなの意見を計画にハンエイハンエイ
- センシヨクカセンシヨクカ「センシヨクカ」織家
- シゴトバシゴトバ「シゴトバ」で話す
- 美しいサクライロサクライロ「サクライロ」色
- 空が赤くソソ「ソ」まる
- 絹糸で着物をオオ「オ」る
- アワアワ「アワ」いピンク色
- 息をスス「ス」いココ「コ」込込む
- 強さを内にヒヒ「ヒ」める
- 砂糖をニツニツ「ニツ」煮詰煮詰める
- ジツサイジツサイ「ジツサイ」問題
- 暖かいキセツキセツ「キセツ」即即

- ジョウウキジョウウキ「ジョウウキ」した顔
 - イツシユンイツシユン「イツシユン」の出来事
 - フシギフシギ「フシギ」な話だ
 - ケンメイケンメイ「ケンメイ」に働く
 - スガタスガタ「スガタ」を現す
 - ノウリノウリ「ノウリ」にひらめく
 - キキ「キ」のミキミキ「ミキ」幹
 - 松のジュヒジュヒ「ジュヒ」皮皮の色
 - イツコクイツコク「イツコク」を争う
 - 科学のセイスイセイスイ「セイスイ」を
 - 自然ゲンシヨウゲンシヨウ「ゲンシヨウ」現象
 - シヤシヤ「シヤ」視野視野がひろがる
 - ハイゴハイゴ「ハイゴ」関係の調査
 - 常にネットウネットウ「ネットウ」念頭念頭におく
 - ミチカミチカ「ミチカ」な問題
- ◆ 書き誤りやすい漢字 ◆
- 「発」の上部を「夕」としないこと。
 - 「識・職」と区別すること。

語句の学習

1 語句の意味（次の言葉の意味を、辞書を引いて調べよう。）

- ① 単独タンドク → たた一つ
- ② 本質ホンシツ → 物ごとのいちばんまことなるたいせえ
- ③ 語彙ゴイ →
- ④ 反映ハンエイ → 光などは反射する
- ⑤ 上気ジョウキ → する
- ⑥ えもいわれぬ何ともいえない
- ⑦ 尖端ゼンテン → もののほし
- ⑧ 精髓センズイ → ものごと

- ⑨ 念頭ネントウ → 心の事
- 2 対義語（次の言葉と意味が対立する言葉を書こう。）
 - 全体ゼンタイ ↓ 個人コジン
 - 素人ソウジン ↓ 果実クワシ
 - 直前チクゼン ↓ 直後チクゴ
- 3 類義語（次の言葉と意味がよく似ている言葉を書こう。）
 - 一刻イツコク || 一時イツジ
 - 時節ジセツ || 時候キョウ
 - 視野シヤ || 識シ
- 4 短文作り（次の言葉を使って、短文を作ろう。）
 - いやおうなしに
 - やさやかな
 - ささやかな

覚えておきたい 慣用句

▼「慣用句」とは、二つ以上の言葉が結びついて、ある特定の意味を表す句です。その句を見ただけでは意味がわかりませんが、次に示した意味を正しく覚えておきましょう。

▽あいた口がふさがらない↓あきれかえる。あつげにとられる。

▽あごが干上がる↓生活ができなくなる。

▽あごで使う↓いばった態度で人を使う。

▽あごを出す↓くたびれる。へたばる。

▽足が出る(足を出す)↓使ったお金が予定より多かり赤字になる。

▽足が棒になる↓足がひじょうにつかれる。

▽足もとを見られる

↓弱みにつけこまれる。

▽足を洗う↓悪い仕事をやめ正業につく。

▽足をうばわれる↓交通機関がストや事故で止まり、通勤・通学ができな

▽汗水流す↓一生懸命はたらく。

▽頭が上がらない↓①相手の実力に押され、また、相手に借りがあり、対等な立場に立てない。②病気が重い。

▽頭が下がる↓感心する。敬服する。

▽頭を下げる↓相手の力に負けて従う。



▽油を売る↓仕事中に無駄話をして、時間を空費する。

(昔、油売りが油を容器に移すとき、油がゆつくりたれるので、その間、お客と世間話をしていたことから)

▽泡を食う↓おどろき、あわてる。

▽板につく↓職業や任務などが、その人にびったり合った感じになる。

▽一目置く↓相手を、自分より優れていると認め、敬意をはらう。(囲碁で、弱い方が最初に碁石を碁盤に一つ置いて始めることから)

▽腕によりをかける↓じゅうぶんに力を出そうと、はりきる。

▽腕をこまねく↓何もしないで見ている。

▽腕をふるう↓実力を発揮する。

▽裏をかく↓相手の予想をくつがえすことをして、相手のねらいをくじく。

▽お茶を濁す↓適当にその場をこまかす。



▽折り紙をつける↓保証する。

▽顔がきく↓信用があつて、いろいろと便宜を図ってもらえる。

▽顔が広い↓多くの人に知られている。

▽顔から火が出る↓恥ずかしい思いをする。

▽顔に泥を塗る↓他人の体面を傷つける。

▽肩を並べる↓同じ程度のもつ。

▽肩を持つ↓味方になる。ひいきする。

▽かぶとを脱ぐ↓降参する。

▽木に竹をつぐ↓前後のつじつまが合わない。異質なものを加えてうまくいかない。つり合わないことのとどえ。

▽肝に銘じる↓心に刻み決して忘れない。

▽肝をつぶす↓おどろく。びっくりする。

▽肝を冷やす↓ぞつとさせる。驚き恐れる。

▽口が堅い↓秘密などをしゃべらない。

▽口が軽い↓おしやべりである。

▽口車に乗る↓うまい話にだまされる。

▽口を切る↓いちばん初めに発言する。

▽首を長くする↓待ちこがれる。

▽心を砕く↓いろいろ心配し苦心する。

▽腰が低い↓他人に謙虚な態度で接する。

▽言葉を濁す↓はっきり言わずこまかす。

▽さじを投げる↓物事の見込みがないとあきらめる。(医者が病人の治療の方法がないと診断して、薬を調合するためのさじを投げ出す意)

▽舌を巻く↓感心する。ひどく驚く。

▽しのぎを削る↓両者が激しく争う。(「しのぎ」とは、刀の両面の少し高くなっている所をいい、刃で切り合うとき、しのぎが互いにすれ合い、削られるように感じることから)

▽しびれを切らす↓待ちくたびれる。

▽しりが長い↓人の家に長くなる。

▽しりに火がつく↓物事がさし迫る。

▽心血を注ぐ↓物事に全精力をつぎこむ。

▽雀の涙↓ほんのわずかな量のとどえ。

▽隅に置けない↓思ったより優れていてばかにできない。

▽大鼓判を押す↓確実だと保証する。

▽棚に上げる↓そのままにして、知らぬふりをする。



▽手を空にする↓機嫌を悪くする。

▽手が空く↓ひまになる。手がすく。

▽手が込む↓技巧・細工が細かい。

▽手が足りない↓労働力・人が不十分だ。

▽手に汗を握る↓どうなるかと、はらははらしたり、興奮したりする。

▽手に余る↓もてあます。手に負えない。

▽手も足も出ない↓相手の力が教段上で、どうすることもできない。

▽手を貸す↓人の仕事を手伝ってやる。

▽手を切る↓関係を断つ。縁を切る。

▽手をこまねく↓何もしないで見ている。

▽手を焼く↓扱いに困る。もてあます。

▽峠を越す↓勢いの最盛期が過ぎておとろえ始める。最も重要な時期が過ぎて先の見通しがきくようになる。

▽途方に暮れる↓どうしていいかわからなくなつて困る。

▽涙をのむ↓残念な気持ちをこらえる。

▽二の足を踏む↓ためらう。

▽猫の手も借りたい↓ひじょうに忙しいことのとどえ。

▽猫の額↓ひじょうに狭いことのとどえ。

▽熱を上げる↓熱中する。夢中になる。

▽寤耳に水↓不意のことで驚くたとどえ。

▽歯が立たない↓相手が強く勝てない。

▽鼻が高い↓得意である。傲慢できる。

▽鼻につく↓あきて、不快に感じる。



▽花を持たす↓相手に榮譽をゆずす。

▽曲に衣を着せない↓思った通りを言う。

▽腹にすえかねる↓怒りを押さえられぬ。

▽額を集める↓寄り集まって相談する。

▽筆が立つ↓文章をつくるのがうまい。

▽腕に落ちない↓納得できない。

▽骨を折る↓力を尽くす。努力する。

▽水に流す↓過去のいざこざなどを無かつたことにして和解する。

▽水をさす↓仲のいい間柄や始めた事柄に、わきからじやまをする。

▽耳を傾ける↓熱心によく注意して聞く。

▽虫が知らせる↓何となく予感がする。

▽胸が痛む↓心配して心を悩ます。

▽胸をなでおろす↓ほつと安心する。